

東大泉の田舎の雑木林のまん中に小さな一軒家を建てて、
われわれの永遠の棲家とした。 —— 牧野富太郎



記念庭園入口



記念館

富太郎が30余年暮らしたこの場所は「牧野記念庭園」として昭和33(1958)年12月1日に開園。この場所に残された富太郎の書斎「繇條書屋」の室内を再現した展示は令和5(2023)年春に完成しました。

練馬区立 牧野記念庭園

東京都練馬区東大泉 6-34-4
TEL 03-6904-6403

開園時間 午前9時～午後5時
(企画展は午前9時30分～午後4時30分まで)

休園日 火曜日(火曜日が祝休日のときは開園し翌平日休園)
年末年始(12月29日～1月3日)



牧野記念庭園



交通案内

- 電車で西武池袋線「大泉学園駅」南口より徒歩5分
- 主なバス経路
 - ・ JR中央線 荻窪駅／西武新宿線 上井草駅から 西武バス「長久保行」
 - ・ JR中央線 西荻窪駅／西武新宿線 上石神井駅から 西武バス・関東バス「大泉学園駅南口行」
 - ・ JR中央線 吉祥寺駅／西武新宿線 武蔵関駅から 西武バス「新座栄行」「都民農園セコニック」他

いずれもバス停「学芸大附属前」下車、徒歩3分

障害者用駐車場(1台)があります。事前にご予約ください。



この書斎再現展示プロジェクトは「練馬みどりの葉っぱい基金」へのご寄付を活用させていただきました。ご参加くださったみなさまに御礼申し上げます。

練馬みどりの葉っぱい基金



練馬区立 牧野記念庭園

書斎再現展示

LIBRARY OF T. MAKINO



植物学者、牧野富太郎の最後の書斎が、ふたたび立ちあられる。

『繇條書屋』

ここは草木が宿る書斎

繇條：草や木が生い茂ること



牧野家のネコ
チーコ

牧野博士の勉強部屋には「繇條書屋」と書かれた額が飾られていました。博士は30回以上も引越したけど、ずっと手放さず持っていたこの額の文字は、博士の研究をいつも見下ろしていました。

伊藤圭介書 明治15(1882)年



植物学者が黎明期の日本で、1,500種類以上の植物に名前をつけ、植物の知識を広めた牧野富太郎。彼が30年暮らした庭園に残された書斎が、その気配を感じられる場所として再生しました。



あるいは草木の精かも知れんと自分で自分を疑います。ハハハ

